

第13回

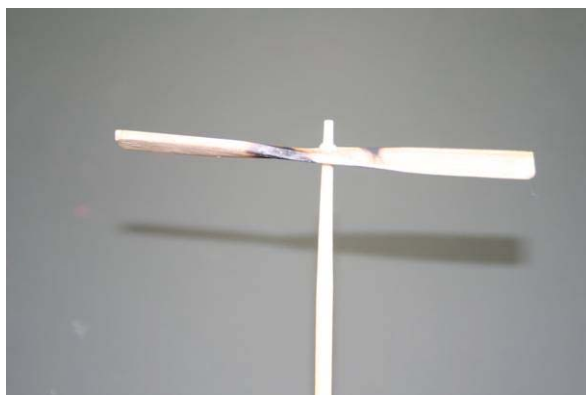
【機械木工講座（3）】小刀使用法、プロペラを作る（2）

いろいろな竹とんぼ

標準系

（1）ねじり型

プロペラを削った後、揚力を作り出すために、軸付近を加熱して曲げる。加熱するときは軸付近をアルミホイルで包むと良い。竹を削る量は最も少ない。

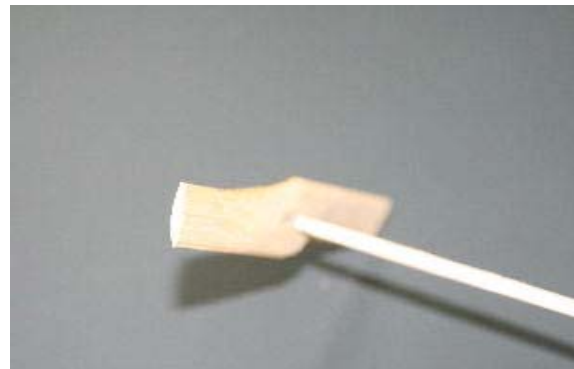


（2）非ねじり型

（a）プロペラの四つの部分を斜めにけずり、揚力を作り出す。（別紙参照）



（b）竹の曲がり具合をうまく利用して、揚力を作り出すタイプ。削る部分は2カ所。削る量は少ない。



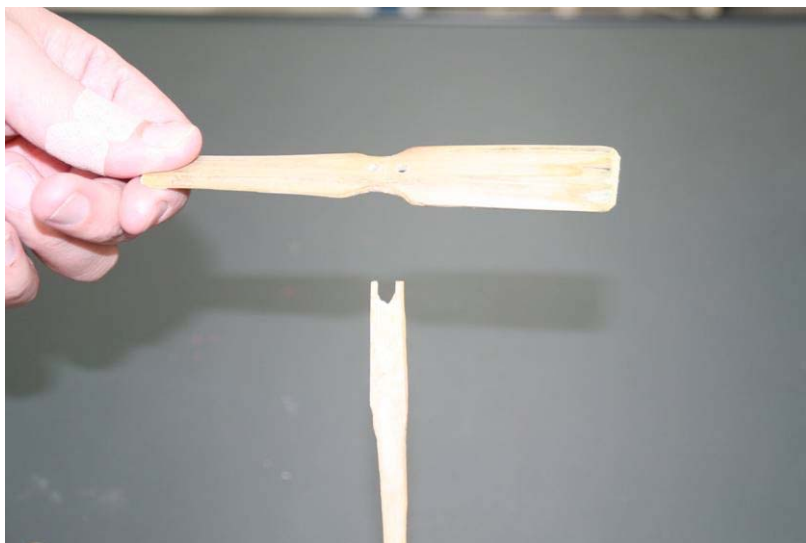
第13回

【機械木工講座（3）】小刀使用法、プロペラを作る（2）

プロペラ分離型

(1) 軽量型

手による回転を加えた後、軸とプロペラが分離する。軸とプロペラは最初に二つの支点となる穴に差し込まれることになる。



(2) 回転力増強型

軸の回転を糸の引きにより増加させる。

上昇度は様々なタイプの中でも最高位である。

